

地球温暖化防止のため

駐停車時は

アイドリング・ストップに 取り組むでござる



© 北海道環境宣言 環境忍者えこ之助

こんなときには、エンジンを止めて

アイドリング・ストップ

- ☆ 人を待っているとき
- ☆ 荷物の積みおろしのとき
- ☆ コンビニや自動販売機を利用するとき
- ☆ サービスエリアなどで休憩するとき

- ・ 二酸化炭素などの温室効果ガスの増加が、地球温暖化を進行させています。車の運転からも自動車燃料の燃焼により、二酸化炭素が発生しています。
そして、車を走らせなくても、エンジンをかけているだけで燃料は消費され、二酸化炭素が発生します。
- ・ 平成21年3月に施行された『北海道地球温暖化防止対策条例』において、自動車を運転する方は、自動車の使用に伴う温室効果ガスの排出を抑制するため、アイドリング・ストップをはじめとするエコドライブに取り組むこととされています。
- ・ また、500㎡以上の面積を有する駐車場の管理者等についても、利用者にアイドリング・ストップの実施について周知することが義務づけられ、それ以外の駐車場の管理者等についても周知に努めることとされています。
- ・ 道自身も、道の事務・事業から発生する温室効果ガスを率先して減らすため、公用車を運転するときは、アイドリング・ストップの徹底のほか、急発進や急加速をしないなど、エコドライブを実践しています。

○エコドライブやアイドリング・ストップについては、(一財)省エネルギーセンターのホームページ(<http://www.eccj.or.jp/idstop/say/08/>)もご覧ください。

北海道環境生活部ゼロカーボン推進局気候変動対策課

TEL 011-204-5189



エコドライブ チェックリスト



アイドリングストップのほかにも、色々あります、環境とお財布にやさしいエコドライブ。
あなたはいくつ実行していますか。

- やさしい発進を心がける。(ふんわりアクセル「eスタート」)**
普通の発進より少し緩やかに発進する(最初の5秒で時速20kmが目安です)だけで11%程度燃費が改善します。
- 車間距離は余裕をもって、交通状況に応じた安全な定速走行に努める。**
車間距離を詰めたり、速度にムラのある走り方をすると、加減速の機会も多くなり、その分市街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。また、同じ速度であれば、高めのギアで走行する方が燃費がよくなります。
- 減速時には、エンブレキを活用する。**
エンブレキを使うと、燃料の供給が停止される(燃料カット)ので、2%程度燃費が改善されます。
- エアコンの使用を控えめにする。**
気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25°Cの時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します
- 無用なアイドリングをしない。(アイドリングストップ)**
10分間のアイドリング(ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合)で、130cc程度の燃料を浪費します。
- 暖機運転は適切な時間とする。**
エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。暖機することにより走行時の燃費は改善しますが、5分間暖機すると160cc程度の燃料を浪費しますので、全体の燃料消費量は増加します。
- 計画的なドライブをする。**
1時間のドライブで道に迷って10分余計に走行すると14%程度の燃費悪化に相当します。
- 確実な点検・整備を実施する。**
タイヤの空気圧が適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。
- 不要な荷物は積まないようにする**
100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。運ぶ必要のない荷物は、車から下ろしましょう。
- 駐車場を使用するなど、駐車場所に注意する。**
交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらす余分な排出ガスを出させる原因となります。平均車速が時速40kmから時速20kmに落ちると、31%程度の燃料悪化に相当すると言われてしています。

警察庁、経済産業省、国土交通省及び環境省で構成する「エコドライブ普及連絡会」が取りまとめた『エコドライブ10のすすめ』から抜粋しています。(http://www.env.go.jp/air/info/ecodrive_m/)